

大和保育所の保育

インクルーシブ保育の視点から

2025. 7. 1

インクルーシブ保育とは

誰をも排除しない保育

- ◆ 障がいがあろうとなかろうと、民族が同じであろうとなかろうと、そうした違いの有無によって分けない保育そのもの。
- ◆ 性・言語・文化・個性などの違いを持った子どもたちであったとしても、同じ空間で学ぶ。
- ◆ 子どもの持つ課題や問題の原因や背景を子どもに求めるのではなく、学びの環境と関係から受け止めて、子ども一人ひとりの「生きにくさ」を克服していこうという保育実践の構え。



施設・設備・保育カリキュラム・保育士による指導方法、教材・
教具など合理的かつ最善の配慮をしていくことが求められる

大和保育所ではどんな保育を目指しているの？

同じ空間や場の共有

- ・ 自分の居場所があり、他児と場や空間を共有し、相互に学びあう。

自己決定の尊重

- ・ 本人が判断する、選ぶ力を育てる。本人の感じ方、考え方を受け止め、自分の直面する問題を解決する力をつける。

自立と共生の関係を重視

- ・ 自己決定は、一人ひとりが決定し合う友達の中でこそ育つ。子ども同士での育ちあいが教育基盤になる。

多様な形態による柔軟な保育

- ・ 集団保育・小集団保育・個別保育の柔軟な組み合わせによる保育活動。

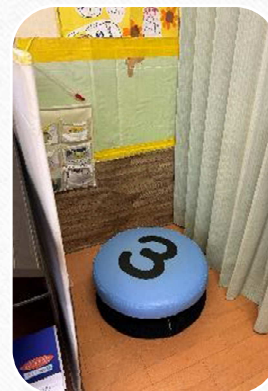
環境設定①室内環境



コーナー保育



活動と遊びの場の
工夫



リラックスコーナー



小集団活動の部屋

など

環境設定②人的環境

チーム保育

- ・ 複数担任で、個々の状況に応じた適切な関りや、特に配慮を要する事態にも敏速・適切に対応しています。

保育士の役割分担

- ・ 一つのクラスに対して複数の保育者が協力し、集団・小集団・個別への指導などの役割をもっています。

保育士の、子どもに対する肯定的な関り

- ・ 研修を積み重ねた経験豊かな保育士が多く、子どものありのままを受け入れ、理解し、周囲の環境を子どもにとって魅力的なものにし、成長や発達にとって有意義なものに調整していけるよう努力しています。

環境設定③物的環境



玩具



体育遊具



予定表・手順表



支援グッズ

など

保育のすすめ方の工夫

自由保育・集団保育と小集団保育と個別保育

- ・ 集団保育・少集団保育・個別保育の柔軟な組み合わせによる保育活動を行っています。
- ・ その集団のメンバーや経験してほしいことに合わせて保育の進め方を工夫しています。

縦割り保育(3・4歳児)

- ・ 異年齢を通して社会性や協調性を学んでいます

医療的ケア児



医療的ケア児の受け入れをしており、
R7年度は医療的ケア児6名を受け入れています。

集団保育を行う中でも、一人一人の子どもに
必要な安全な環境づくり・体制づくりを大切に
しています。

すずらん活動(少集団保育)

特定の子が毎回参加するものではなく、
大和保育所の3歳以上児みんなが参加対象です。
また、「できるようにするための指導」を行う活動でもありません。

できなくてもいい、**様々な経験**をして**頑張ったことを褒められ**
自分に自信をつけて大きな集団で自分を発揮できるように手助けをする活動です。

クラス担任だけでなく、すずらん担当職員も一緒に子どもの発達を見守っています。

